

行田市合同企業就職相談会を開催します

「行田市移住・定住プロジェクト」の一環として、若者の市内企業への就職促進と職場定着を目的とした合同企業就職相談会を開催します。参加企業ごとに設置するブースで、人事担当者から仕事の内容や勤務条件などについて直接話を聞くことができます。ぜひ、気軽にお立ち寄りください。

- ▶日時 3月7日(土)午前10時～午後4時
- ▶場所 商工センターホール
- ▶参加費 無料
- ▶共催 行田公共職業安定所
- ▶その他 事前予約は不要。入退場自由。
- ▶問い合わせ 移住・定住相談窓口(企画政策課内・内線312)または商工観光課商工振興担当(内線383)



防災行政無線の情報伝達訓練を実施します

自然災害や武力攻撃などの発生時に備えて、防災行政無線を利用した全国瞬時警報システム(Jアラート)の全国一斉情報伝達訓練を、次のとおり実施しますのでご留意ください。

- ▶試験日時 2月19日(水)午前11時ごろ
- ▶放送内容 上りチャイム音→「これはJアラートのテストです(3回繰り返し)。こちらは防災行田です」→下りチャイム音
- ※Jアラートとは、国が把握した時間的に余裕がない緊急情報を市町村の防災行政無線などを利用して瞬時に伝達するシステムです。
- ▶問い合わせ 防災安全課防災担当(内線282)



プレミアム付商品券の購入はお早めに

プレミアム付商品券の購入期限は2月28日(金)までです。期日を過ぎると購入できませんので、購入引換券をお持ちで、購入を希望される方はお急ぎください。また、商品券の利用は3月31日(火)までとなっていますのでご注意ください。

- ▶販売場所および日時
市内郵便局窓口(南河原簡易郵便局では販売しません)
午前9時～午後5時(土・日曜日、祝日などを除く)
※行田郵便局は午後7時まで
- ▶問い合わせ 商工観光課商工振興担当(内線383)

第2期行田市子ども・子育て支援事業計画(素案)に対する意見を募集します

子どもや子育てに関するさまざまな課題に対応するため、「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度から始まりました。

市では、同制度に基づき、本市の子育て支援の方策などについて定め、子育て支援を計画的に実施するため「第1期行田市子ども・子育て支援事業計画(平成27年度～31年度)」を策定しましたが、同計画が期間の満了を迎えるため「第2期事業計画(令和2年度～6年度)」の策定を進めています。

このたび、計画の素案がまとまりましたので、市民の皆さんから広く意見を募集します。

- ▶意見募集期間 2月19日(水)まで
- ▶閲覧場所 子ども未来課、市政情報コーナー、南河原支所(開庁時間内に限ります)※市ホームページからも閲覧可
- ▶意見提出方法 住所、氏名、電話番号を明記の上(様式自由)、持参、郵送、FAX、電子メールのいずれかの方法で提出してください。
【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市子ども未来課
【FAX】556-3551
【Eメール】kosodate-keikaku@city.gyoda.lg.jp

- ▶その他
 - ・提出された意見は、個人を特定できないように編集し、概要を公表します。
 - ・電話や口頭での意見は受け付けません。
 - ・頂いた意見に対する個別の回答はできません。

- ▶問い合わせ 同課子ども未来担当(内線292)

行田の足袋～まちの近代化を支えた産業の歴史～シンポジウムを開催します

郷土博物館が所蔵する「行田の足袋製造用具及び関係資料」を国重要有形民俗文化財に指定するよう、国の文化審議会から文部科学大臣に答申されました。これを受けて、行田足袋の歴史や今回指定となる資料に関するシンポジウムを開催します。

- ▶日時 3月14日(土)午後1時30分～4時15分
- ▶場所 郷土博物館講座室
- ▶内容
 - 【基調報告】
 - ・田村均さん(埼玉大学教育学部教授)による報告「行田足袋の歴史—足袋がまちをつくった」
 - ・板垣時夫さん(行田市文化財保護審議会委員)による報告「足袋をとりまく職人について」
 - ・外立ますみさん(トーリ工房代表)による報告「足袋製造用具の資料整備とその内容」
 - 【パネルディスカッション】
パネリスト：田村均さん、外立ますみさん、板垣時夫さん
司会：小島孝夫さん(成城大学文芸学部教授)
- ▶定員 80人(先着順)
- ▶参加費 無料



▶申し込み・問い合わせ 電話で同館 ☎554-5911

行田市観光サポーターを募集します

行田市のイメージアップや観光振興による地域活性化を目的としたPR活動などをしていただく「行田市観光サポーター」を募集します。

- ▶委嘱期間 委嘱の日から2年間
- ▶活動内容
 - ①市が提供する観光パンフレットの配布やSNSによる情報発信など、さまざまな機会を捉えて市の魅力を積極的にPRする
 - ②市が主催するイベントや祭典への協力
 - ③その他本市の観光振興に関することへの協力
- ▶応募資格 本市に愛着を持ち、行田の良さや情報を広く発信していただける方
- ▶その他 報酬はありません。
- ▶応募方法 商工観光課で配布している応募用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入の上、持参、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で同課へ提出してください。【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市商工観光課観光担当【FAX】553-5063【Eメール】kanko@city.gyoda.lg.jp ※Eメールの場合、件名を「行田市観光サポーターへの応募」としてください。
- ▶問い合わせ 同課観光担当(内線389)

観光シンポジウムを開催します

今後戦略的に観光まちづくりを進めていくために、本市および行田市観光協会では、令和2年度中に新たな観光振興組織(DMO)の設立を目指しています。本市の観光を持続可能な産業として発展させていくためには、地域の皆さんと協働で取り組んでいく必要があります。そこで、まずは本市の観光まちづくりを地域の皆さんと考える場として、次のとおり観光シンポジウムを開催します。本市の観光やまちづくりに興味のある方は、ぜひご参加ください。

- ▶日時 3月14日(土)午後1時30分～4時30分(午後1時開場)
- ▶場所 商工センターホール
- ▶テーマ 「行田市の観光まちづくりを考える」
- ▶参加費 無料
- ▶主催 行田市、行田市観光協会
- ▶後援(予定) 国土交通省関東運輸局、埼玉県、(一社)埼玉県物産観光協会、行田商工会議所、南河原商工会、朝日新聞北埼玉支局、毎日新聞熊谷支局、産経新聞さいたま総局、時事通信社さいたま支局、テレ玉、共同通信社さいたま支局、FM NACK5、行田ケーブルテレビ(株) 他
- ▶問い合わせ 商工観光課観光担当(内線375)